

名古屋YWCA ガリ勉クラブ「ガリ勉みらいプロジェクト2016」  
進学につながる教育支援、就労につながる日本語支援、支援者のための支援

上村桂恵子（公益財団法人名古屋YWCA「ガリ勉クラブ」）

実践の場の特徴：

日本語教室「ガリ勉クラブ」小学高学年～高校生、過年度生・不就学生等約70人、ボランティア約45人在籍

実践の目標：

子ども日本語教室として①進学支援②就労支援③支援者支援をバランスよく行うことが必須であると考え、当教室が地域のモデルとなることを目標とする。また、学校につながっていない過年度生の進学と進学後のサポートを最大の課題と捉え支援を実践する

具体的な実践の内容とその過程：

- ①進学の教育支援：日本語支援、教科学習支援、保護者支援、  
進学と進学後のサポート
- ②就労の日本語支援：仕事選びワークショップ、仕事の日本語講座、工場見学、職場体験、ボランティア体験
- ③支援者の支援：『外国につながる子どものサポートブック-学齢超過生・過年度生・不就学生の教育支援を考える-』発行、サポーター研修開催

結果と考察（目標の達成度）：

- ①進学実績：高校進学者数（うち過年度生数）  
2012年5人（1人）⇒2013年8人（4人）⇒2014年19人（8人）  
⇒2015年30人（15人）  
過年度生に中学校の進路指導の代わりを行うことで確実に進学へ導くことができた
- ②アルバイトと学業の両立をする定時制高校生が増えた  
夏休みを行うことで小中高生が参加でき、就労を意識した高校進学の道筋ができた地域社会とのつながりを持てた
- ③サポートブックの発行により、教育の狭間にいる子ども達に関する情報提供と問題提起を行い、支援者や教育関係者に興味を持ってもらうことができた